

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設 の 名 称	宮城県慶長使節船ミュージアム
指 定 管 理 者 の 名 称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
施 設 所 管 部 課 (室)	環境生活部 消費生活・文化課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成19年 4月 ~ 平成22年 3月	指定管理者	(財)慶長遣欧使節船協会	
平成22年 4月 ~ 平成25年 3月	指定管理者	(公財)慶長遣欧使節船協会	
平成25年 4月 ~ 平成28年 3月	指定管理者	(公財)慶長遣欧使節船協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
	所在地	宮城県石巻市渡波字大森30番地2
指 定 期 間	平成25年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日 (3か年)	
募 集 方 法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)	
所 在 地	宮城県石巻市渡波字大森30番地2	
設 置 年 月	平成 8年 8月	
根 拠 条 例 等	慶長使節船ミュージアム条例, 慶長使節船ミュージアム条例施行規則	
設 置 目 的	慶長遣欧使節船の復元船を展示し、並びに慶長遣欧使節に関する資料を収集し、保管し、及び展示し、併せて慶長遣欧使節及び帆船に関する調査研究及び普及活動を行い、もって郷土の歴史に関する知識の普及及び海洋文化の振興に資するため	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	13,574.78㎡
	構 造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨、木造)
内 容	エントランス、ロビー、慶長使節展示室、企画展示室、サン・ファンシアター、セミナールーム、ギャラリー、サン・ファンショップ、事務室、応接室、館長室、会議室、救護室	
開 館 (所) 日	毎週火曜日及び年末年始(12月28日~翌1月4日)を除く日	
開 館 (所) 時 間	午前 9時30分 ~ 午後 4時30分(8月1日~31日までは、午後5時30分まで)	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	1.施設全体の管理運営業務 2.施設の利用料金の徴収・収納業務 3.慶長遣欧使節船等に関する業務 4.施設全体の維持管理業務 5.その他施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	310 日	309 日	310 日	100.0%	100.3%
延べ利用者数	48,000 人	44,928 人	48,614 人	101.3%	108.2%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
有料観覧者	48,000 人	33,054 人	28,484 人	59.3%	86.2%
無料観覧者(減免)	人	2,960 人	7,725 人	—	261.0%
無料観覧者(高校生等)	人	749 人	1,253 人	—	167.3%
無料観覧者(小・中学生等)	人	5,188 人	7,412 人	—	142.9%
無料観覧者(小学生未満)	人	2,977 人	3,740 人	—	125.6%
合 計	48,000 人	44,928 人	48,614 人	101.3%	108.2%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	141,837	146,240	141,837	100.0%	97.0%
利用料金収入	20,634	20,124	15,574	75.5%	77.4%
その他		690	663	—	96.1%
収入計 (a)	162,471	167,054	158,074	97.3%	94.6%

(2) 支出

人件費	39,335	38,157	38,716	98.4%	101.5%
施設管理費	84,116	92,707	108,413	128.9%	116.9%
事業運営費	37,590	34,980	33,473	89.0%	95.7%
その他	1,430	7,542	7,856	549.4%	104.2%
支出計 (b)	162,471	173,386	188,458	116.0%	108.7%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-6,332	-30,384	—	479.8%
前期繰越収支差額	—	—	—	—	—
次期繰越収支差額	—	—	—	—	—

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	財団の自立に向けた組織体制の強化・充実を図るため、適正な人員で運営体制の整備に努めた。		事業規模に見合う適正な組織を構築し、管理運営体制のスリム化を図った。		A	組織体制の充実を図り、適正な管理運営体制が築かれていると認められる。	A
人員体制	正規	10人	非正規	11人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	サン・ファン館開館後19年が経過し、施設全体の経年劣化が顕著となっている現状に対応するため、必要な修繕を実施した。		施設の維持管理に当たっては、優先順位に基づく年次計画を策定し、適時適切な補修等に努めている。 復元船については、平成5年の完成から22年が経過し腐朽が進行していることから、県の調査を踏まえ、今後のあり方を検討することとしている。		A	施設の運営にあたり、清掃、整備、各種設備の保守点検等の維持管理が適切に行われている。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	企画事業として、企画展「伊達の黒船をつくった人々」を開催した。また、絵画コンクールや歴史講座等を開催し、慶長使節の啓蒙に努めた。		例年実施している企画展等に加え、当財団初の事業として、館長と学ぶ「慶長使節が目指した世界」を月1回、計6回開催し、慶長遣欧使節の意義について啓蒙を図った。		A	例年実施している、企画展や絵画コンクールのほか、新規事業として、館長と学ぶ歴史講座を開催するなど、ソフト事業の取組み強化が見られた。また、協賛事業として実施したサン・ファン祭りやイタリア祭などの効果もあり、昨年度を上回る来館者数を達成することができた。	A
④自主事業の実施	-		-		-	-	-
⑤利用者サービスの向上	石巻市観光案内講習や英会話講習、石巻地域の観光施設の視察などを行い、アテンダントの資質の向上を図った。 また、利用者サービスの一環として、土日、祝日には、アテンダントによる施設案内を行った。		来館者へのサービス向上と満足度を高めるため、アテンダントを各種の研修に積極的に参加させた。 また、英会話のできるアテンダントを採用し、毎日朝礼等において英語による挨拶の発声を行うなど外国人客のサービス向上に努めた。		A	職員の研修や視察等を行い、職員の資質向上に努めた。また、ホームページで、イベント等の情報を発信するなど利用者のサービス向上に努めた。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	利用者より寄せられる苦情等については、速やかに上司に報告し適切に対応できるよう指導を徹底した。また、毎日行う朝礼・夕礼において情報の周知徹底と共通認識を得るよう努めた。		来館者からの苦情・要望等には速やかに館長、事務局長に報告するなど、十分気を配り対応した。		A	利用者からの苦情、要望は速やかに上司に報告し、対応できる体制になっている。また、毎日の朝礼・夕礼において、職員間で情報を共有している。	A
⑦安全対策	施設の安全管理については、委託業者も含め職員一同が日々点検・管理し、異常等があれば直ちに上司と協議し善処した。		来館者の安全・安心な見学を確保するため、日々気を配り各種業務に取り組んでいるが、施設全般の経年劣化が進んでおり、施設設備の年次計画を策定し対応している。 なお、復元船の乗船見学については、県の調査結果を踏まえ、来館者の安全確保の観点から、当分の間中止としている。		A	各種設備の保守点検は適正に行われている。また、安全対策や危険箇所等の情報を職員間で共有し、適切な安全対策を講じている。	A
⑧県民の平等利用	来館者に対しては差別することなく常に明るい笑顔で接することを基本に、障害者に対応する車いすの設置や入館者の減免処置、さらに児童・生徒が気軽に慶長使節の意義を学べるよう高校生以下を無料にするなど所要の配慮を講じた。		「公の施設」の利用に当たっては、平等利用の理念のもと、各種の取り組みを講じており、平等利用の確保が図られた。		A	職員は来館者の平等利用を心がけて職務にあたっている。また、障害者が施設を快適に利用できるようサポートしたり、減免措置を講じるなど、県民の平等利用に努めている。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報保護規程に基づき適正に処理している。	個人情報の取扱いについては、法令等を遵守し、適切に実施している。	A	個人情報保護規程に基づき、適正に処理されているとともに、個人情報の記載のある書類も適正に保管・管理されている。	A
⑩利用実績	企画展の開催や「サン・ファン祭り」「イタリア祭」の実施など、来館者の増加を図るための事業を展開した。	「サン・ファン祭り」当日は、例年半額の入館料としていたが、今年度は、慶長遣欧使節出帆400年記念事業の最終年ということで無料開放し、事業計画に掲げた利用者数を超える来館者の入館を果たせた。 なお、復元船の腐朽の進行に伴い、平成28年3月23日から乗船見学を中止しており次年度以降の入館者の減少が懸念される。	A	平成25年11月の再開館以降は、来館者が落ち込んでいたが、協賛事業として実施したサン・ファン祭りやイタリア祭などの効果もあり、昨年度を上回る来館者数を達成することができた。	A
⑪収支実績	シミュレーションシアターの経年劣化による稼働中止や津波によるドック棟展示物の流失により、当初計画の入館料には及ばず計画額の75.5%の入館料になった。	シミュレーションシアターの稼働中止の代替として、平成27年11月、新たな映像「二つの大津波とサン・ファン・パウティスタ」を製作公開し対応したが、それまでの期間、入館料を20%減免としたほか、乾ドック検査に伴う入館料の半額措置などにより入館料収入が減少した。	B	利用料金収入が減少したことや船舶検査の実施に係る経費の支出等により、支出超過となっている。来館者の増加に努めるとともに、さらなる経費の節減及び適正な支出が求められる。	B
⑫その他の取組	—	—	—	—	—
総合評価		概ね適正な執行状況であると考えている。	A	来館者増の取組みや収支の改善等に課題はあるが、施設の維持管理は概ね適正に実施されている。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	腐朽の顕著な復元船の今後のあり方について、大学教授や船舶の専門家等による検討委員会を設置し検討する。また、復元船の乗船中止に伴い、施設全体の展示のリニューアルが必要である。なお、昨年までの課題であった経年劣化による電気設備等施設の計画的な更新については、中長期の補修整備計画を策定し、平成28年度から着手している。また、本年5月、施設に併設する石巻市サン・ファン・パウティスタパーク内にカフェ&バー「浜人」がオープンし、来館者へ軽食等の提供を行っている。	施設のメイン展示物である復元船サン・ファン・パウティスタは建造後23年が経過しており、腐朽の進行が大きな課題となっている。今後は、復元船の今後のあり方について関係機関等と協議し検討を進めていく。 また、復元船に乗船できない現状を踏まえ、企画内容や展示方法を工夫するなど、来館者の増加に向けた取組みが必要である。